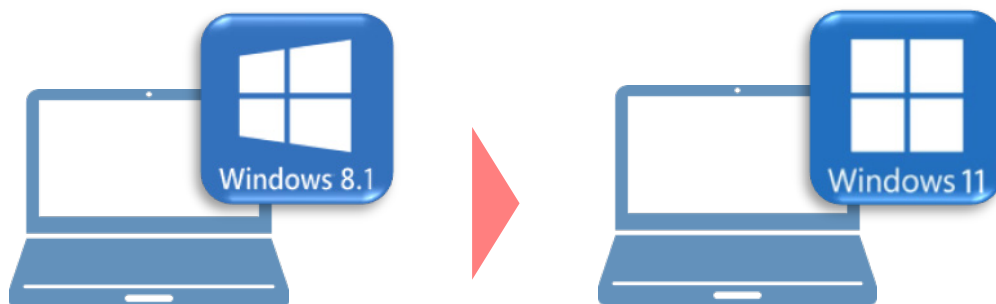


新しいパソコンへの、データ・設定の移行の流れ

サーバークライアント（共同編集なし）用



Windows8.1 での作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除

Windows11 での作業

- ③ FC アカウントのインストール
- ④ TREND-ONE のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定

サーバクライアント（共同編集なし）用



Windows8.1 での作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除



1

データ・設定のバックアップ

まず、旧パソコン（Windows8.1）のTREND-ONEで、「現場データ」と「設定」をバックアップします。

1-1 現場データをバックアップする

現場データをバックアップする手順です。 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「現場データ」のバックアップは、いずれか1台のクライアント PC でおこないます。

サーバーに保存されている「現場データ」をバックアップします。すべてのクライアントPCでおこなう必要はありません。

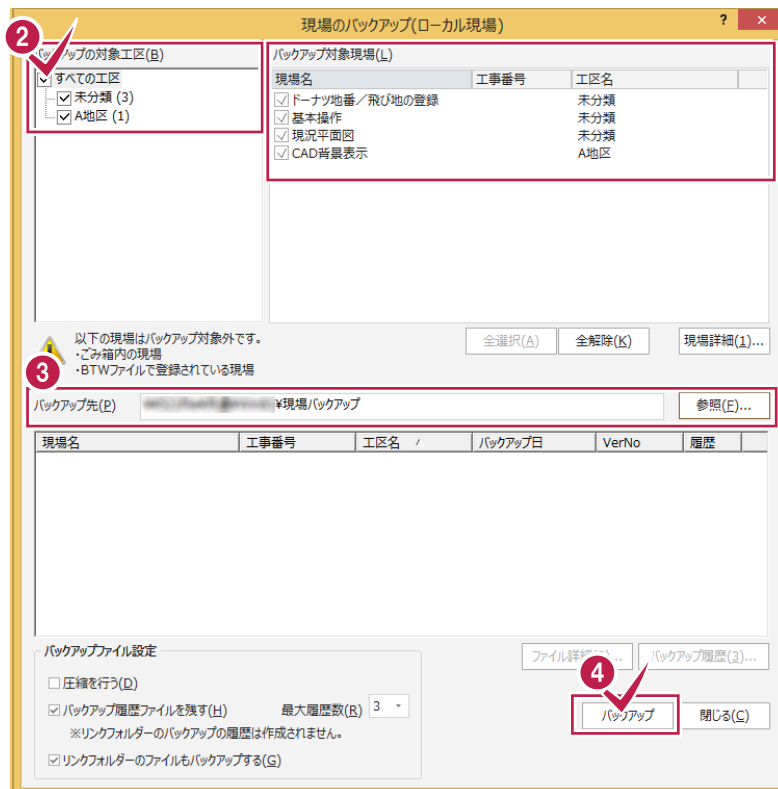
※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

- 1 現場管理を起動して、[書込] タブ
[バックアップ] グループ - [現場] をクリック
します。



- 2 「すべての工区」のチェックを「オン」にします。

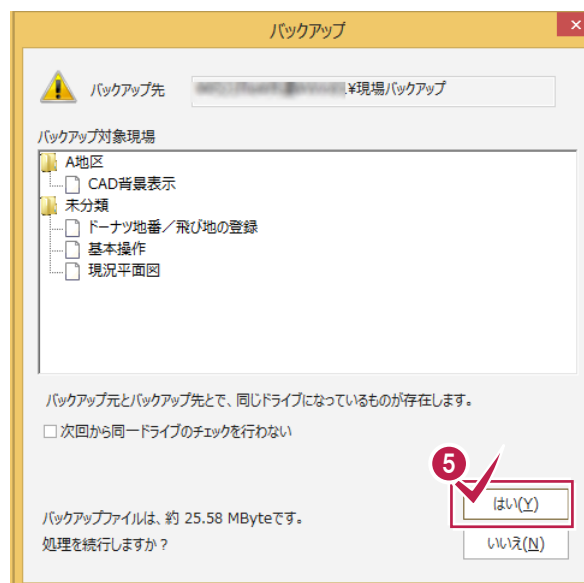
[バックアップ対象工区] のすべての工区と、
[バックアップ対象現場] のすべての現場の
チェックが「オン」になったことを確認します。



- 3 バックアップ先のフォルダーを指定します。

- 4 [バックアップ] をクリックします。

- 5 [はい] をクリックします。
バックアップが開始されます。

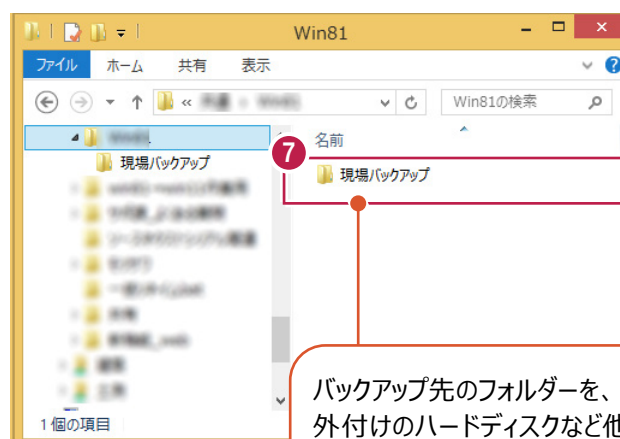


- 6 バックアップが終了したら、[OK] をクリックします。



- 7 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「現場データのバックアップ」は完了です。



1-2 全設定をバックアップする

サーバーと各クライアントPCに保存されている全設定をバックアップする手順です。

※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

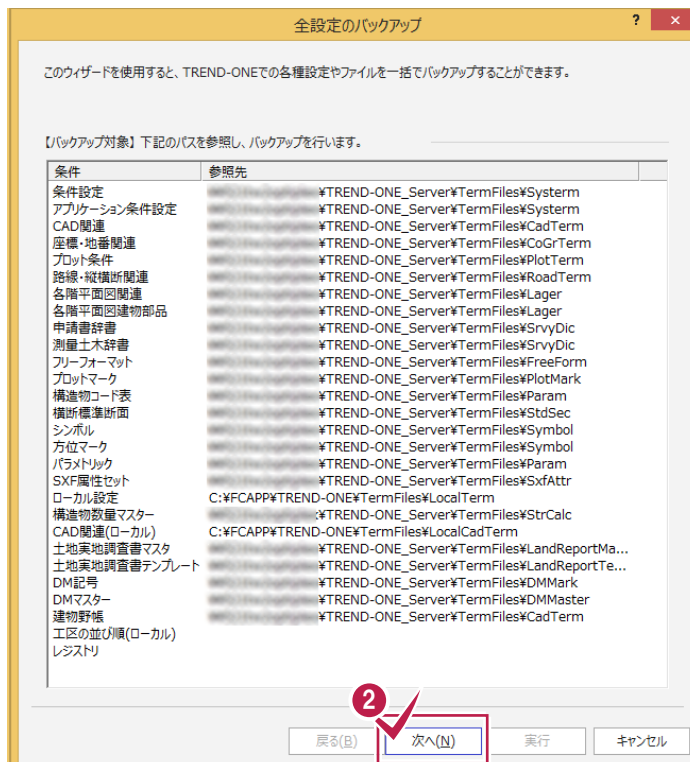
「全設定」のバックアップは、すべてのクライアント PC でおこないます。

※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

- 1 現場管理の [書込] タブ - [バックアップ] グループ - [全設定] をクリックします。

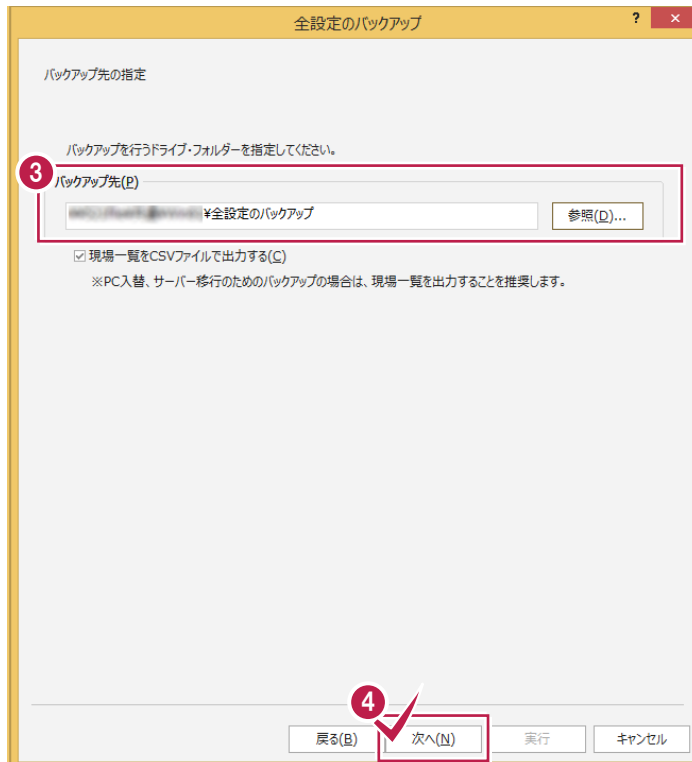


- 2 バックアップされる条件を確認して [次へ] をクリックします。

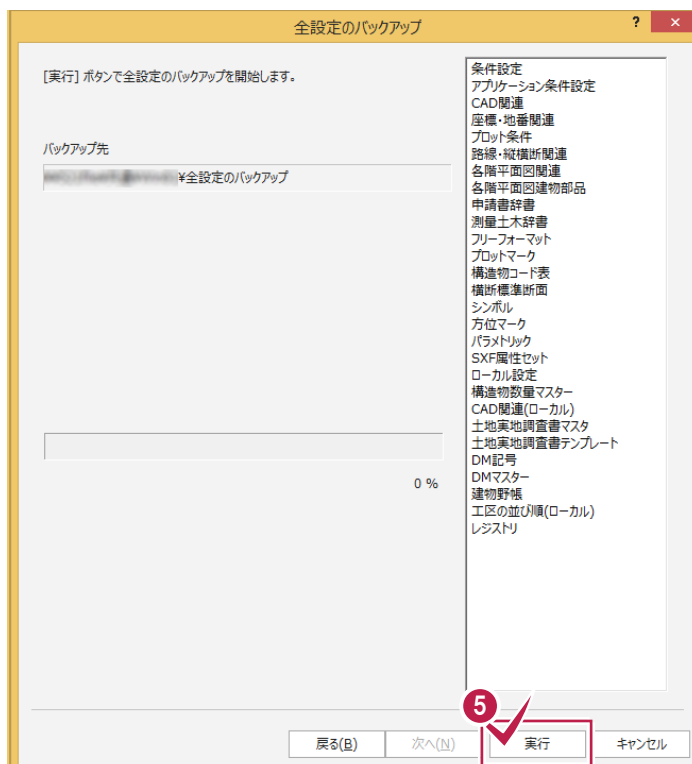


③ バックアップ先のフォルダーを指定します。

④ [次へ] をクリックします。



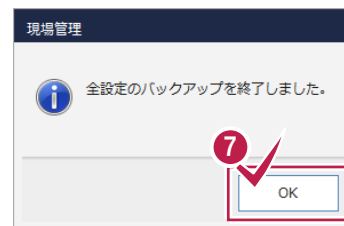
⑤ [実行] をクリックします。



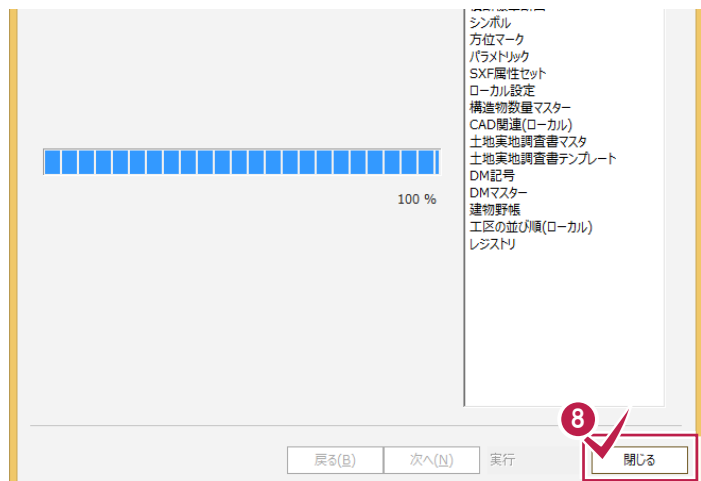
- 6 [はい] をクリックします。
バックアップが開始されます。



- 7 バックアップが終了したら [OK] をクリックします。

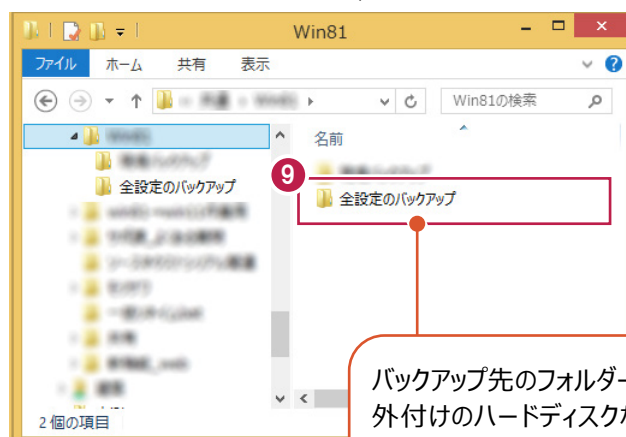


- 8 [閉じる] をクリックします。



- 9 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「全設定のバックアップ」は完了です。





2 ライセンスの解除

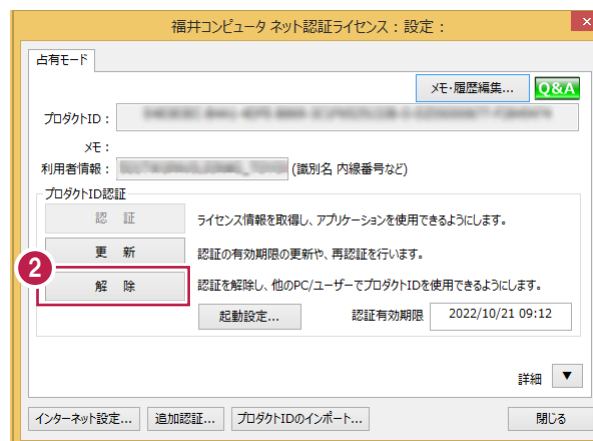
旧パソコン（Windows8.1）で使用している「ネット認証ライセンス（占有）」を解除します。
ライセンスを解除しないと、新パソコン（Windows11）でライセンスを認証することができません。

2-1 ネット認証ライセンス（占有）を解除する

- 1 画面右下のタスクバーの通知領域にある、「FC ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックします。

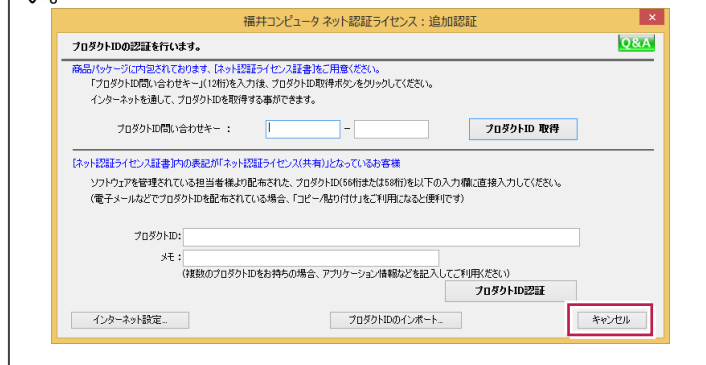


- 2 ネット認証ライセンスの「設定」画面が表示されます。
[解除] を押すとネット認証が解除されます。



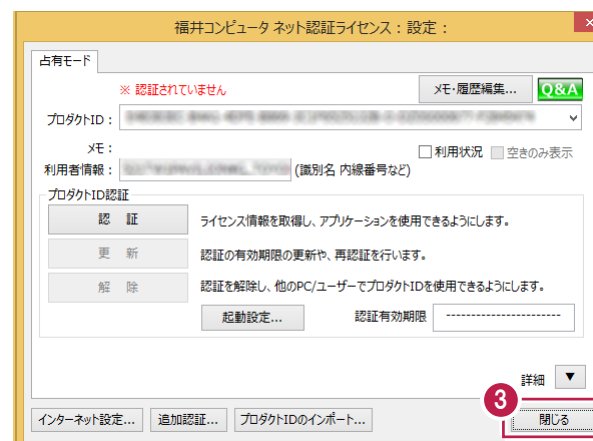
「認証設定」の画面が表示された場合は

「認証設定」の画面が表示された場合は、すでに認証は解除されています。[キャンセル] をクリックして画面を閉じてください。



- 3 [閉じる] をクリックして画面を閉じます。

以上で、「ライセンスの解除」は完了です。



サーバクライアント（共同編集なし）用



Windows11 での作業

- ③ FC アカウントのインストール
- ④ TREND-ONE のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定



3

FC アカウントのインストール

新パソコン（Window11）に、TREND-ONEの最新プログラムをダウンロードするのに必要な「FCアカウント」をインストールします。

3-1 FCアカウントをダウンロードしてインストールする

弊社WEBサイトから、「FCアカウント」をダウンロードしてインストールします。

※コンピューターが再起動されますので、実行中のアプリケーションは、全て終了させておいてください。

- 1 インターネットの検索サイトで、「FC アカウント」を検索します。



- 2 検索結果の「FC アカウントご利用案内 | 福井コンピュータグループ」をクリックします。

検索結果に表示されない場合は、以下のアドレスを直接ブラウザに入力してください。

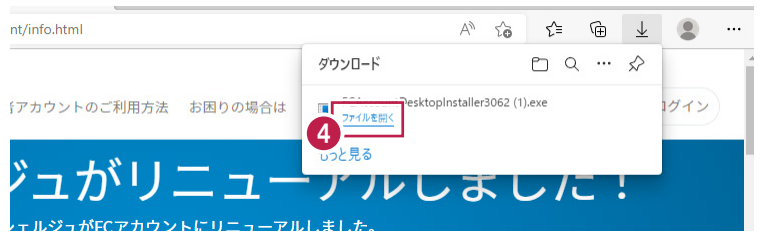
<https://hd.fukuicompu.co.jp/fc-account/info.html>



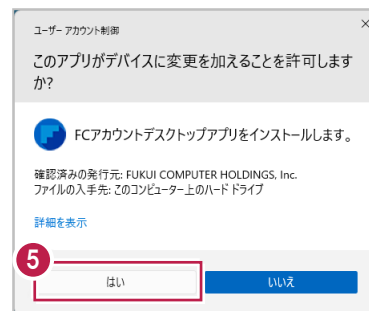
- 3 「FC アカウントをダウンロード」をクリックします。



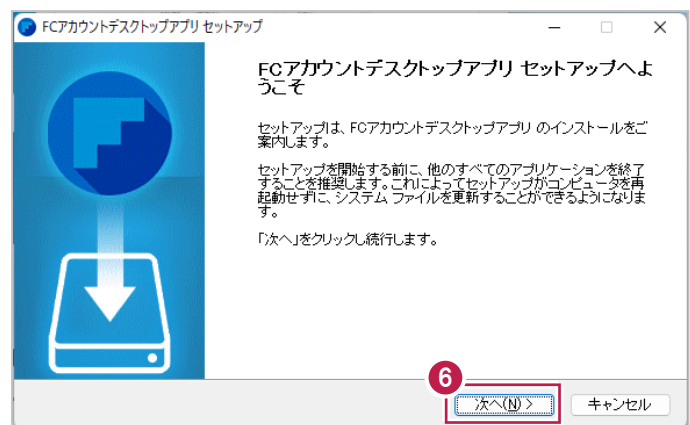
- ④ ファイルのダウンロードの画面が表示された場合は、「ファイルを開く」を押します。



- ⑤ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

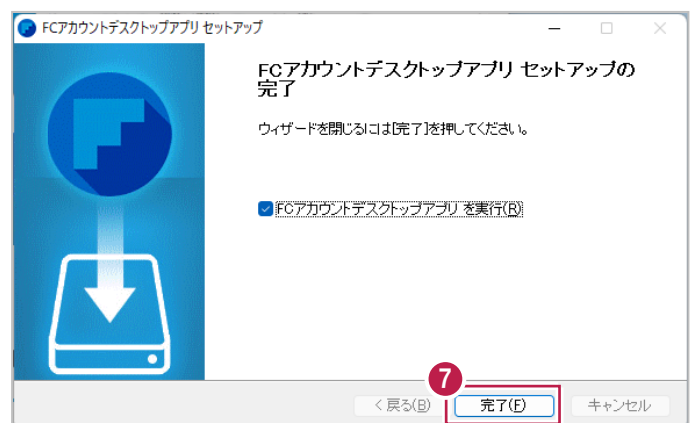


- ⑥ FC アカウントのセットアップが始まります。画面にしたがって、セットアップをおこなってください。



- ⑦ インストールが完了したら、「完了」をクリックします。

※ [FC アカウントデスクトップアプリを実行] がオンの状態で「完了」をクリックすると、自動的に FC アカウントのデスクトップ版が起動されます。



※ FC アカウントのデスクトップ版をインストールすると、デスクトップに FC アカウントを起動するアイコンが登録されます。



※ インストールしたデスクトップアプリ版で、FC アカウントを登録して製品をインストールします。

8 FCアカウントデスクトップ版で次の画面が開きます。「次のステップへ」を押します。

※ 他のパソコンで FC アカウントを登録済みの方は、「すでに FC アカウントをお持ちの方はログインへ」よりログインして、「インストール・バージョンアップ」より製品をインストールできます。



9 FC アカウントデスクトップ版を利用するお客様のメールアドレスを入力して、「確認コードを送信」を押します。

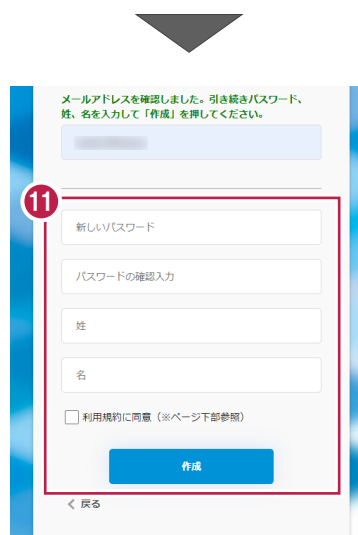
「次へ」をクリックして、ユーザー登録をおこないます。



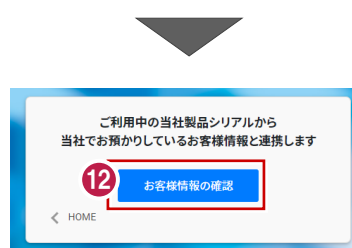
10 入力したメールアドレス先にメールが届きます。メールに書かれているコードを「確認コード」に入力して「コードの確認」を押します。



- 11 「新しいパスワード」「パスワードの確認入力」（確認のため2回入力）「姓」「名」を入力し、利用規約を確認して「利用規約に同意」にチェックを付け「作成」を押します。



- 12 「お客様情報の確認」を押します。



- 13 右記の画面が表示されますので、保守サービス中をご契約中の場合は「こちら」をクリックします。



- 14 「ユーザーコード」と「製品シリアル」を入力して「製品を表示する」を押します。



※以上で、「FC アカウントのインストール」は完了です。

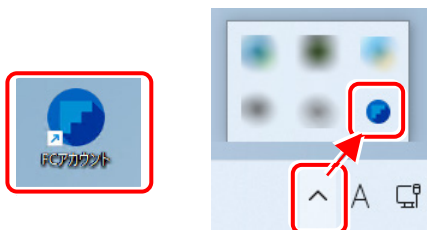


4

TREND-ONE のインストール

新パソコン（Windows11）にインストールしたFCアカウントを利用して、TREND-ONEを新規インストールする手順を解説します。

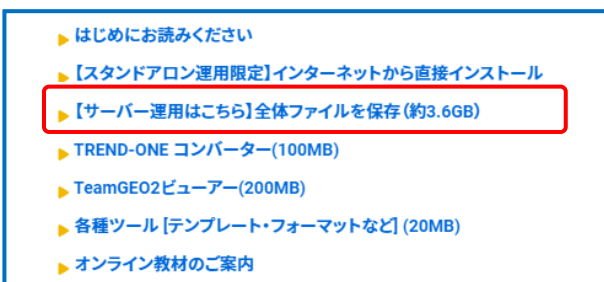
1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を開きます。



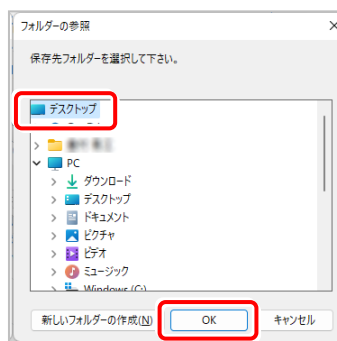
「インストール・バージョンアップ」のページにあるTREND-ONEの「インストール」ボタンをクリックします。



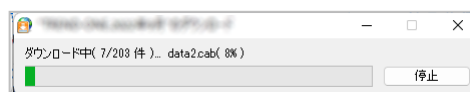
メニューが表示されますので、「【サーバー運用はこちら】全体ファイルを保存」をクリックします。



2. ダウンロードする全体ファイルの保存先を選択して、[OK]をクリックします。



3. ダウンロードが開始されます。



※ ダウンロードを中止するには、上記画面で[停止]をクリックしてダウンロードを一時停止してから、[X]ボタンでダウンロードをキャンセルしてください。

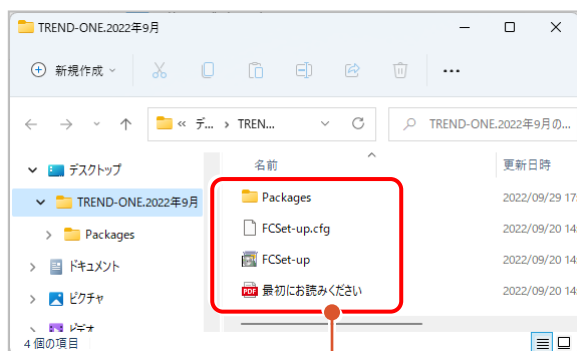
4. ダウンロードが完了すると、セットアップ画面が表示されます。

[閉じる]をクリックして画面を閉じます。

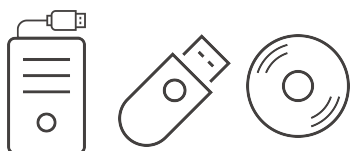


(次ページへ続く)

5. エクスプローラーなどを利用して、ダウンロードした全体ファイルを、外付けハードディスクなど他のメディアにコピーして保存します。



外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーして保存します。



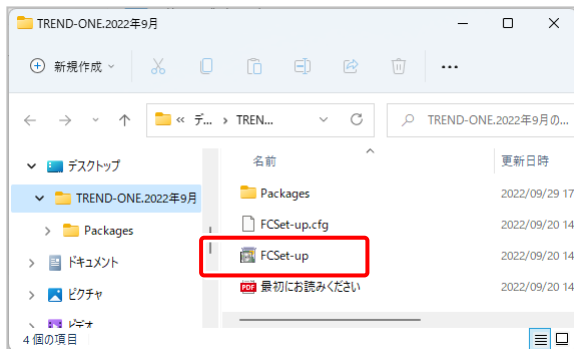
（次ページへ続く）

まず、サーバーにプログラムをインストールします

1. 全体ファイルをコピーしたメディア（外付けハードディスクなど）を、サーバーにセットします。



2. エクスプローラーなどを利用して、ダウンロードした全体ファイルにある“FCSet-up.exe”を実行します。



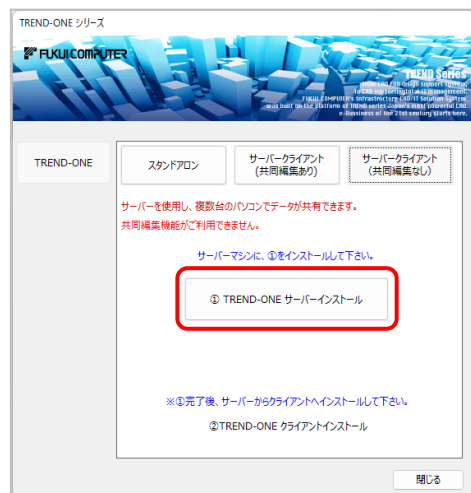
3. セットアップ画面が表示されます。



[サーバクライアント(共同編集なし)]タブを選択します。



[① TREND-ONE サーバインストール]ボタンを押します。



(次ページへ続きます)

4. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。

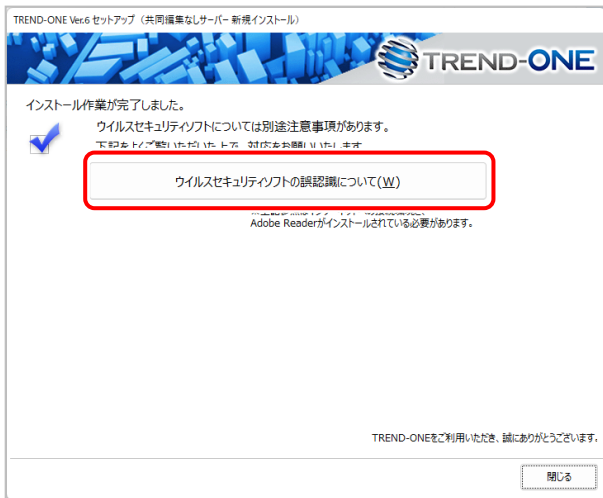


内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。プログラムのインストールが開始されます。



(次ページへ続きます)

インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

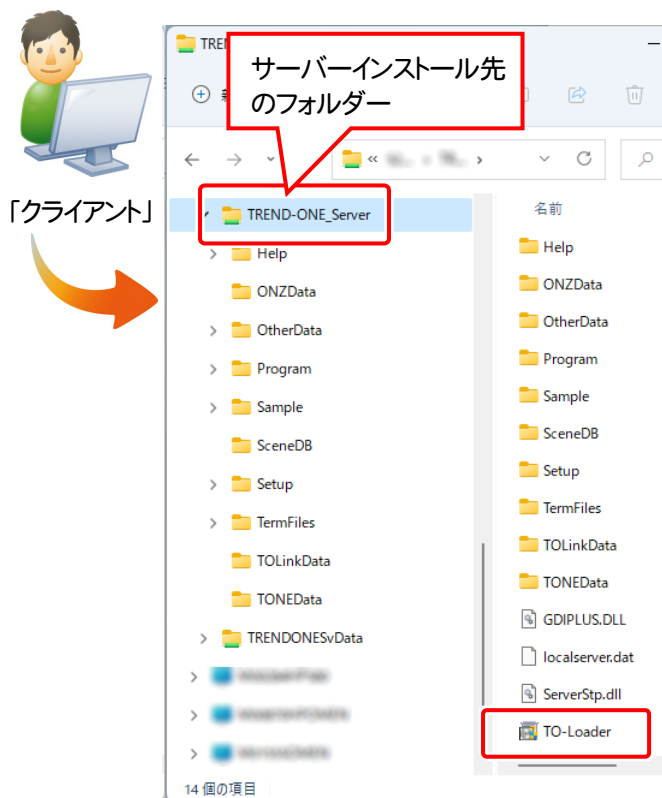
確認を終えたら、[閉じる]を押します。



(次ページへ続きます)

次に、クライアントにプログラムをインストールします

1. クライアントからエクスプローラーでサーバーを参照して、サーバーインストール先のフォルダーにある、“TO-Loader.exe”を実行します。



2. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



(次ページへ続きます)

コンピューターの時計、使用するプロテクト（「プロテクト」タイプ）、インストール先フォルダーを確認します。
必要があれば、変更してください。

設定を終えたら、[次へ]を押します。



時計を確認してください

コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

プロテクトを確認してください

プロテクトが「ネット認証ライセンス(占有)」になっていることを確認してください。

インストール先のフォルダーを確認してください

インストール先を変更する場合は、[インストール先を変更する]ボタンから表示されるダイアログで、インストール先のフォルダーを指定します。

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



以上で、「TREND-ONEのインストール」は完了です。



5 ライセンスの認証

新パソコン（Windows11）でプログラムを起動して、ネット認証ライセンス（占有）の「プロダクトIDの認証」をおこないます。

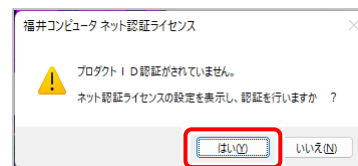
※ プロダクトIDの認証時は、インターネットに接続された環境が必要です。

5-1 ネット認証ライセンス（占有）の、プロダクトID認証手順

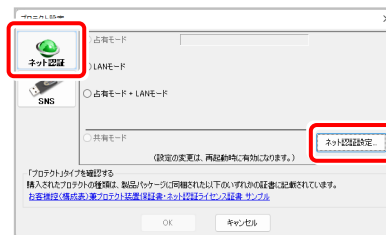
1. デスクトップの[TREND-ONE]をダブルクリックして起動します。



2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[はい]を押して、ネット認証ライセンス（占有）の認証をおこないます。

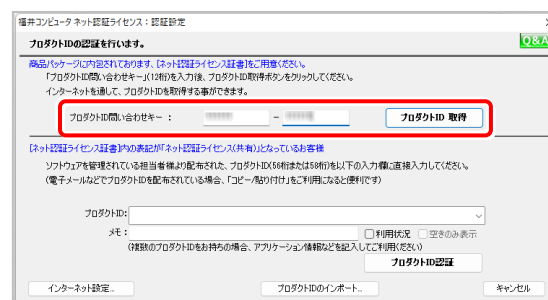


[プロテクト設定]画面が表示された場合は、[ネット認証]を選択して、[ネット認証設定]を押します。

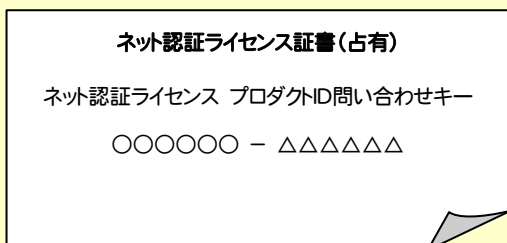


3. [プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]ボタンを押します。

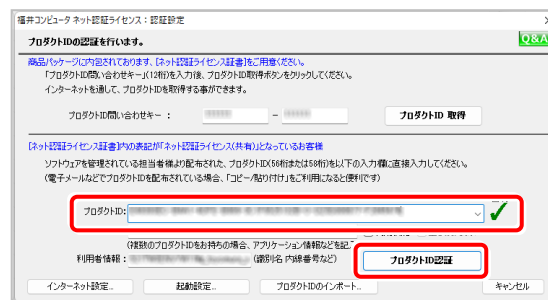
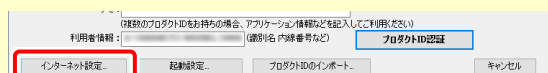
[プロダクトID]が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証]ボタンを押します。



[プロダクトID問い合わせキー]は 6桁+6桁 です。
送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



(次ページへ続く)

4. 「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。
 お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を設定してください。

自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します

事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- 複数人でライセンスを使用する場合。
- 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

※ 自動解除の設定はお客様のご判断でご使用ください。



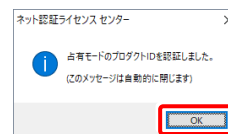
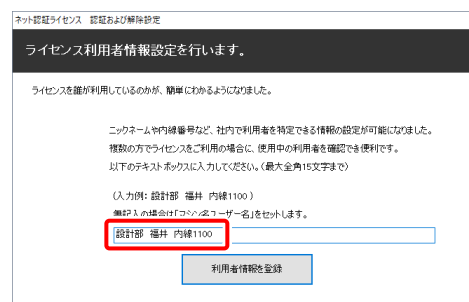
設定を終えたら、[OK] ボタンを押します。



利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況（誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等）を確認する際に利用されます。

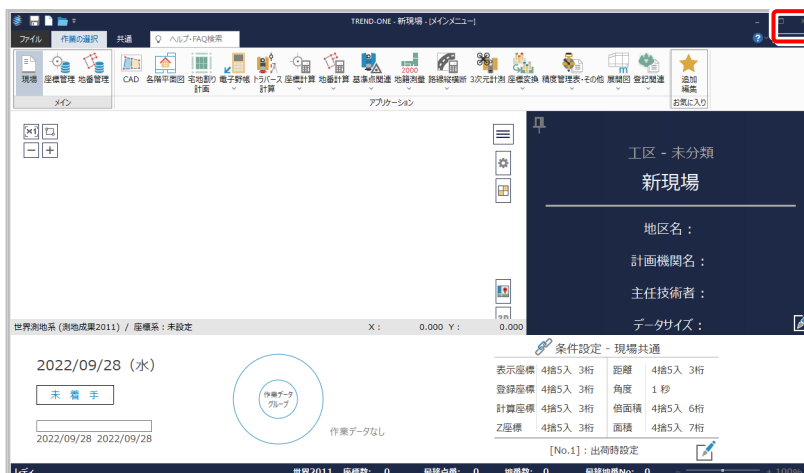
内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。



5. プログラムが起動します。

ここでは一旦プログラム右上の「×」ボタンをクリックして、プログラムを終了します。

以上で「ライセンスの認証」は完了です。





6 データ・設定のリストア（復元）

旧パソコン（Windows8.1）でバックアップしたTREND-ONEの「現場データ」と「全設定」を、新パソコン（Windows11）のTREND-ONEにリストア（復元）します。

6-1 「現場データ」をリストア（復元）する

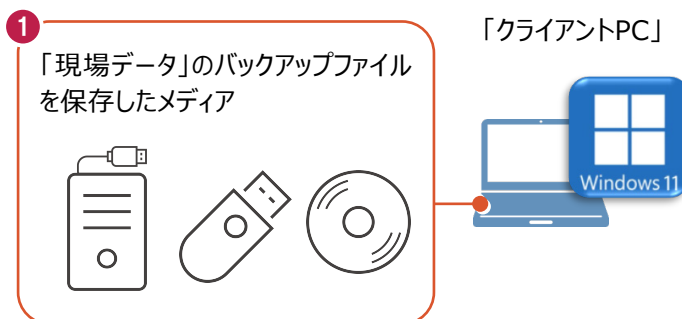
「現場データ」のバックアップファイルを使用して、サーバーに現場データをリストア（復元）する手順です。

※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「現場データ」のリストア（復元）は、いずれか1台のクライアントPCでおこないます。

サーバーに「現場データ」をリストア（復元）します。すべてのPCでおこなう必要はありません。

- 1 いずれか1台のクライアントPCに、「現場データ」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



- 2 現場管理を起動して、[読込] タブ → [リストア] グループ → [現場] をクリックします。

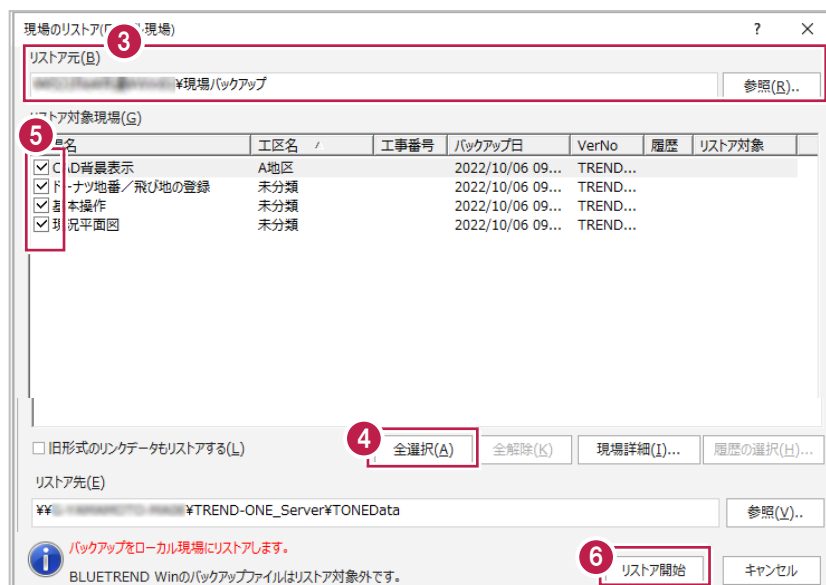


- 3 現場データのバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。

- 4 [全選択] をクリックします。

- 5 リストア対象現場のチェックが、すべて「オン」になっていることを確認します。

- 6 [リストア開始] をクリックします。



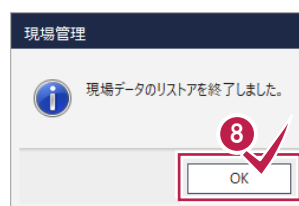
- 7 [はい] をクリックします。

リストア（復元）が開始されます。



- 8 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。

以上で「現場データのリストア（復元）」は完了です。



6-2 サーバーの「全設定」をリストア（復元）する

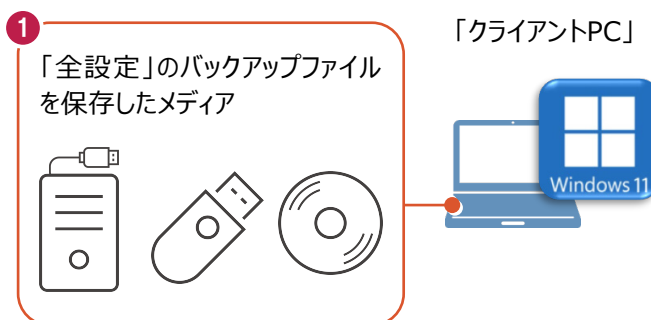
「全設定」のバックアップファイルを使用して、サーバーの全設定をリストア（復元）する手順です。

※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「サーバーの全設定のリストア（復元）」は、いずれか1台のクライアントPCでおこないます。

※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

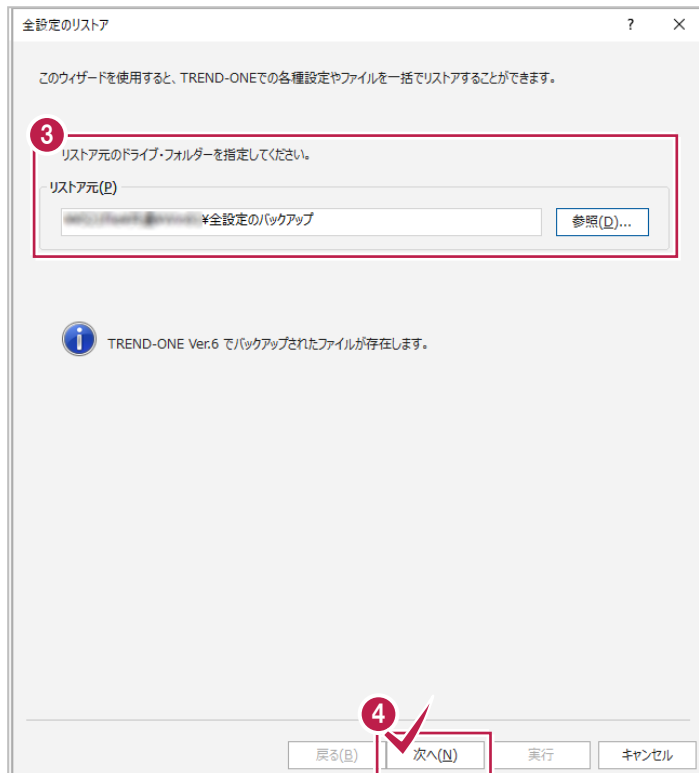
- 1 いずれか1台のクライアントPCに、「全設定」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



- 2 現場管理を起動して、[読込] タブー [リストア] グループー [全設定] をクリックします。



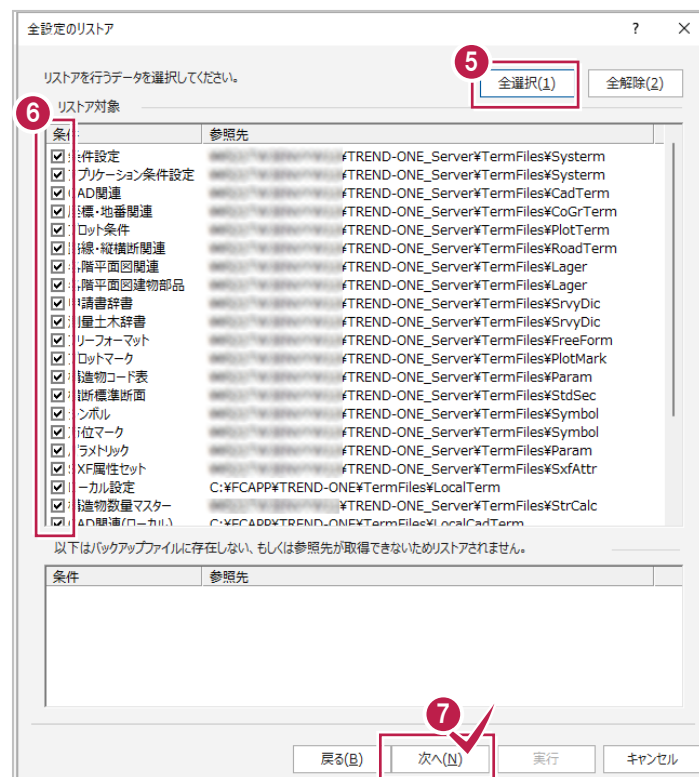
- 3 全設定のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



- 4 [次へ] をクリックします。

- 5 [全選択] をクリックします。

- 6 条件のチェックが、すべて「オン」になっていることを確認します。



- 7 [次へ] をクリックします。

8 [実行] をクリックします。

リストア（復元）が開始されます。

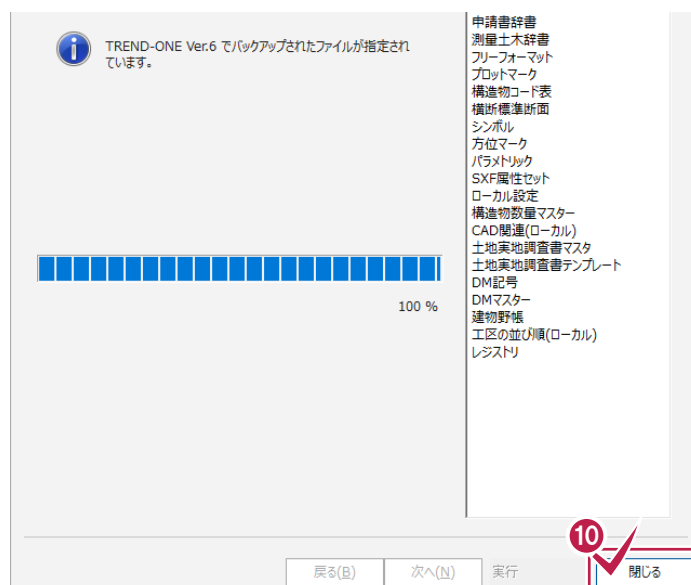


9 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。



10 [閉じる] をクリックします。

以上で「サーバーの全設定のリストア（復元）」は完了です。

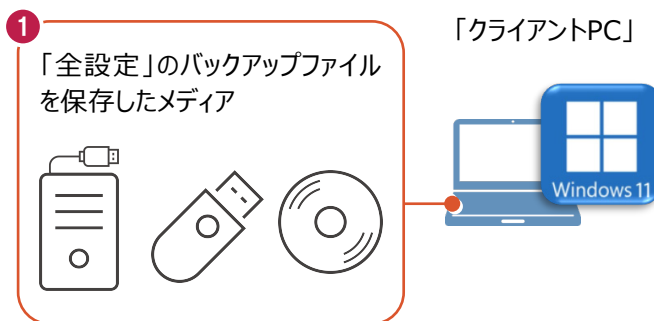


6-3 クライアントPCの「全設定」をリストア（復元）する

「全設定」のバックアップファイルを使用して、各クライアントPCに保存される設定（レジストリなど）をリストア（復元）する手順です。 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「クライアント PC の全設定のリストア（復元）」は、すべてのクライアント PCでおこないます。

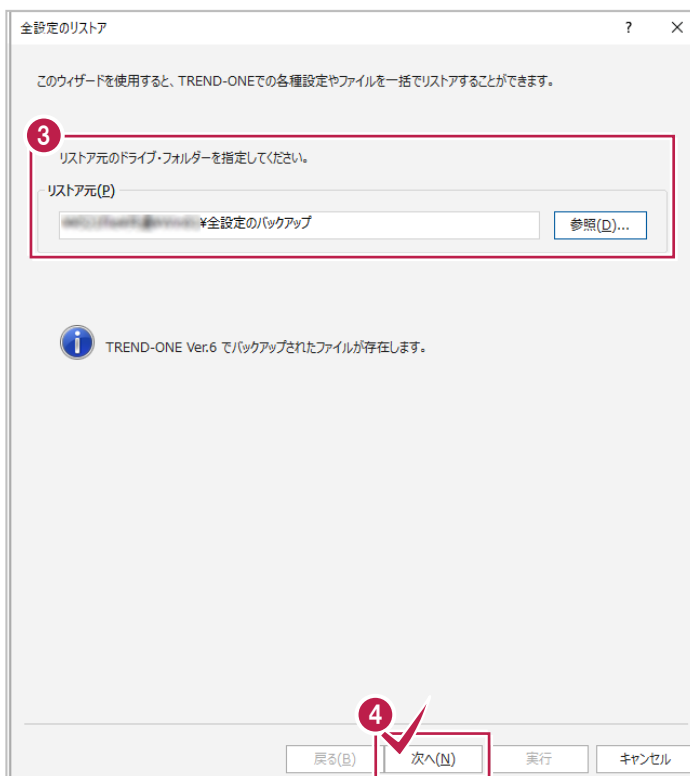
- 1 クライアントPCに、「全設定」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



- 2 現場管理を起動して、[読込] タブ → [リストア] グループ → [全設定] をクリックします。



- 3 全設定のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



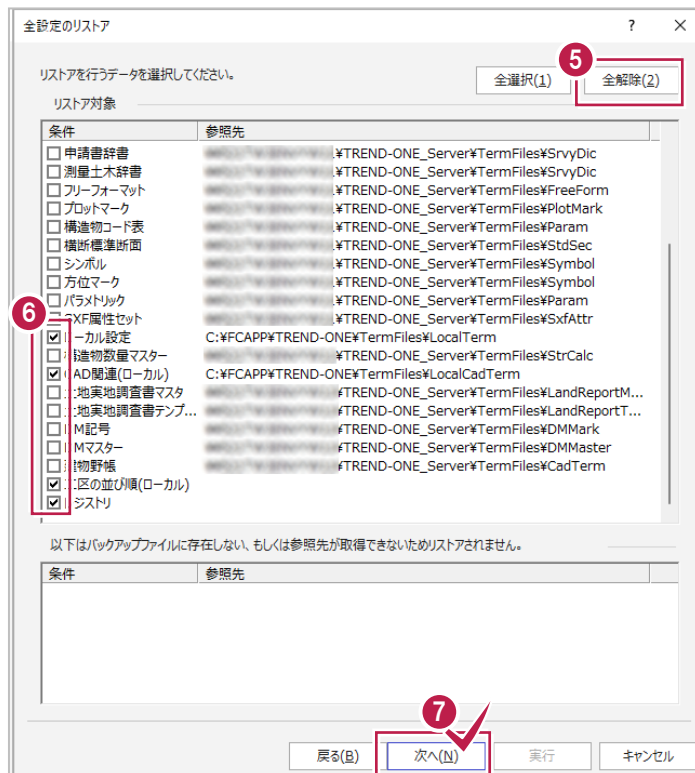
- 4 [次へ] をクリックします。

5 [全解除] をクリックします。

6 以下の条件のチェックのみ、「オン」にします。

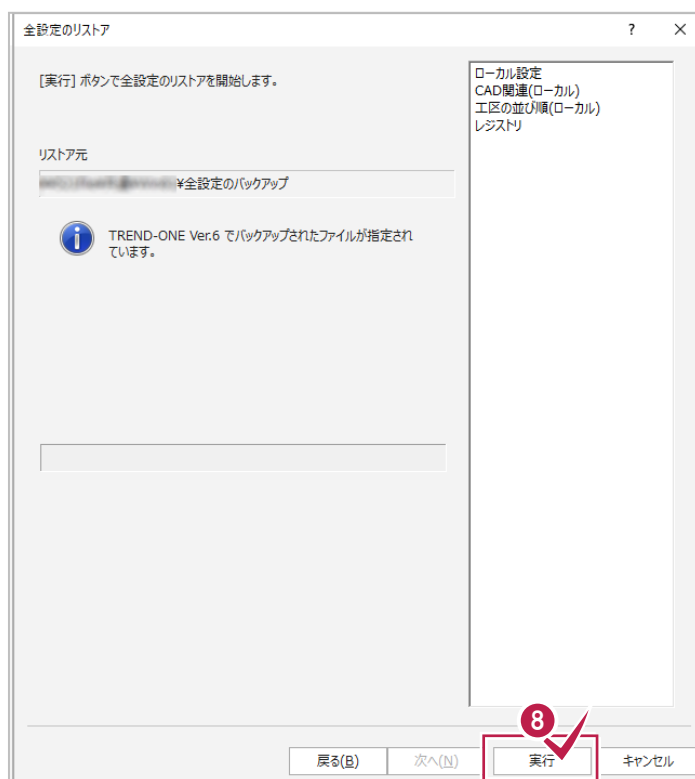
- ローカル設定
- CAD 関連（ローカル）
- 工区の並び順（ローカル）
- レジストリ

7 [次へ] をクリックします。

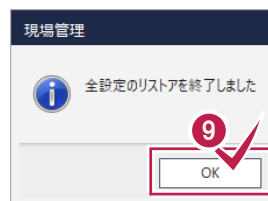


8 [実行] をクリックします。

リストア（復元）が開始されます。

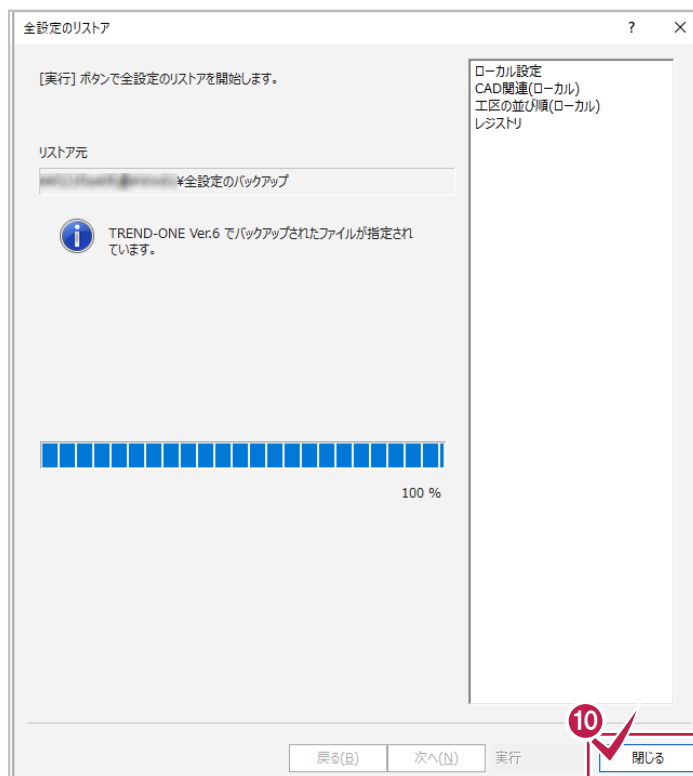


- 9 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。



- 10 [閉じる] をクリックします。

以上で「クライアント PC の全設定のリストア（復元）」は完了です。





7

セキュリティソフトの除外設定

セキュリティソフトに誤認識されてしまうと、起動や保存障害などの不具合が生じることがあります。このような状態を事前に回避するため、弊社プログラムがウイルスの検出対象にならないように、セキュリティソフト側であらかじめ除外設定（検出対象から除外する設定）する手順について解説します。

7-1 除外設定の手順書を開く

① お客様サポートの「インストール/認証・起動」をクリックします。



② 「その他お困りごと」をクリックします。



- ③ 「セキュリティソフトの除外設定について」の「セキュリティソフトの除外設定方法」をクリックします。
内容を確認してください。

インストール
新規インストール・バージョンアップ等

認証・起動
ネット認証ライセンス・プロダクト等

その他お困りごと
その他システムに関するお困りごと等

その他お困りごと
プログラムの起動や動作環境など、その他システムに関するお困りごとはこちらをご覧ください。

動作環境について

セキュリティソフトの除外設定について

③ セキュリティソフトの除外設定方法

- ④ セキュリティソフトの手順書が表示されます。
お使いになっているセキュリティソフトをクリックすると、除外設定の手順書が表示されます。
手順書を参考にして、セキュリティソフトの除外設定をおこなってください。

土木・測量

セキュリティソフト
ネット認証ライセンス

■ セキュリティソフト

■ ネット認証ライセンス

セットアップサポート
サポートセンターに日々寄せられる質問の中から、セットアップに関する内容を紹介します。

| No. | セキュリティソフトメーカー | ソフト別手順書 |
|-----|----------------|--|
| 1 | トレンドマイクロ | ウイルスバスター クラウド Ver.16 ※NTTフレックスウイルスクリア・セキュリティ対策ツールもこちら ビジネスセキュリティ クライアント ビジネスセキュリティ サーバー ウイルスバスター コーポレートエディション（クライアント） ウイルスバスター コーポレートエディション（サーバー） |
| 2 | ノートン シマンテック | ノートン セキュリティ ノートン インターネットセキュリティ ノートン アンチウイルス ノートン 360 エンドポイント プロテクション エンドポイント プロテクション クラウド |
| 3 | マイクロソフト | セキュリティ エssenシャルズ Windows Defender Windows セキュリティセンター |
| 4 | ソースネクスト | ウイルスセキュリティ ゼロ スーパーセキュリティ ゼロ |
| 5 | カスペルスキー | インターネット セキュリティ ※@Niftyの常時安全セキュリティ24もこちら エンドポイント セキュリティ |
| 6 | リブセーフ | リブセーフ Ver.16 |